

令和4年度(2022年度)全国学力・学習状況調査、西宮市学力調査の概要

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

- 教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 本市における実施状況について

① 調査期日

令和4年度 全国学力・学習状況調査：令和4年(2022年)4月19日(火)

令和4年度 西宮市学力調査：令和4年(2022年)5月9日(月)~13日(金)

② 調査対象

市内の小学校および義務教育学校(前期)第6学年、中学校第3学年および義務教育学校(後期)第9学年の全児童生徒

③ 調査内容

小学校・義務教育学校 第6学年：(全国)国語、算数、理科、質問紙
(西宮市)社会

中学校第3学年・義務教育学校第9学年：(全国)国語、数学、理科、質問紙
(西宮市)社会、英語

※令和元年度(2019年度)より、「知識」問題(A)と「活用」問題(B)を一体的に問うことになった。
そのため、平成30年度以前については、上記「知識」問題(A)と「活用」問題(B)の値を平均している。

※質問紙調査は、生活習慣・学習習慣等に関する調査。

※令和2年度は、全国学力・学習状況調査および西宮市学力調査の実施は中止。

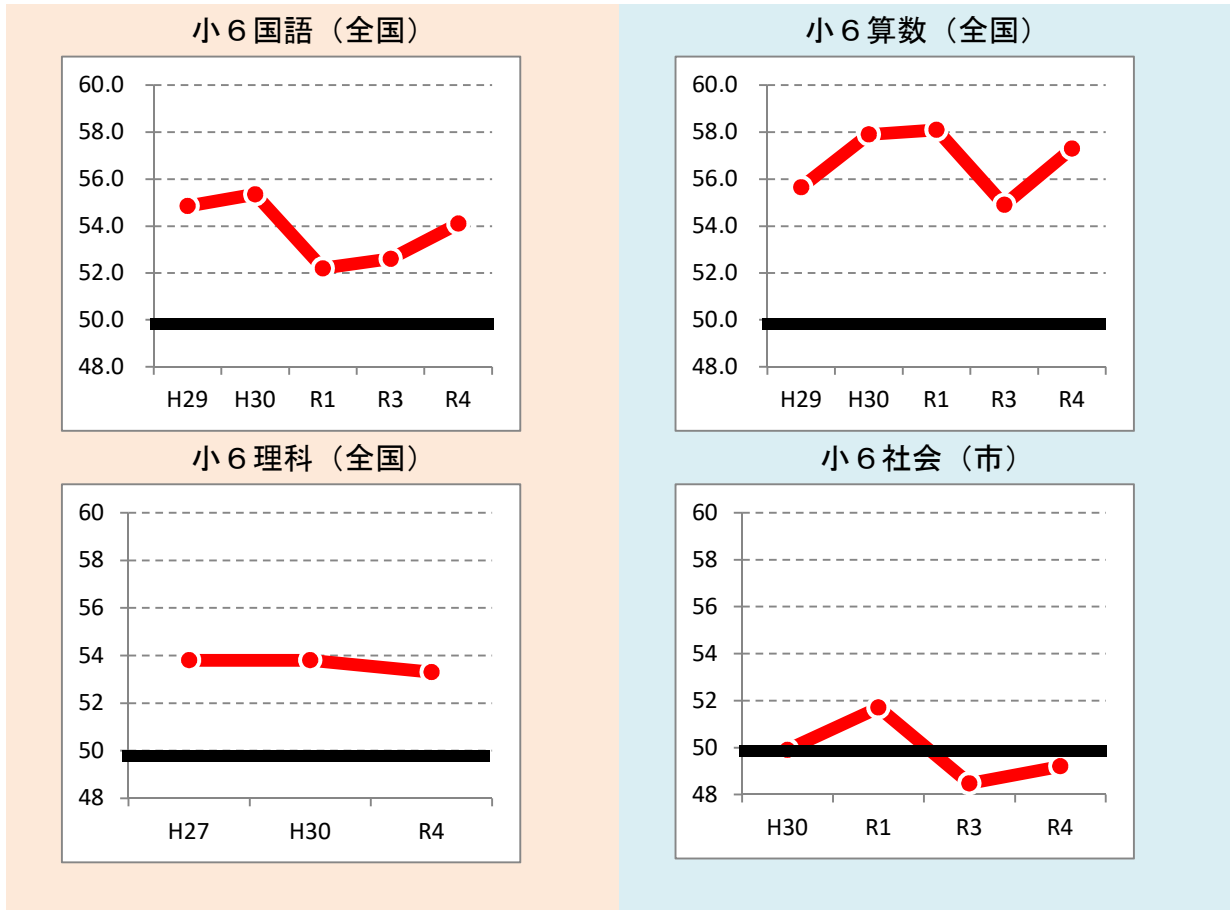


3 調査結果について

(1) 教科に関する調査の結果

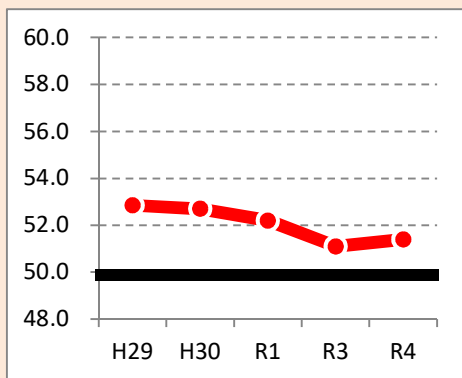
- ① 全国平均正答率を50とした正答率による過去の調査との比較
 【国語、算数・数学、理科】 全国平均正答率を50とした偏差値
 【社会、英語】 全国平均正答率を50として換算

(全国) : 全国学力・学習状況調査
 (市) : 西宮市学力調査

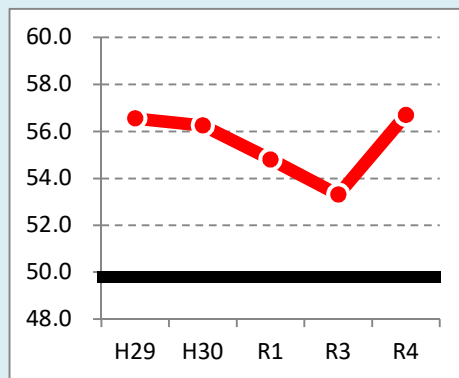


○全国学力・学習状況調査は、全国悉皆調査として行われています。
 ・実施した国語、算数については、令和元年度（2019年度）より、「知識」問題（A）と「活用」問題（B）は一体化し、平成30年度以前の数値は（A）と（B）の値を平均しています。
 ○市の学力調査は、希望する市町村において行われている調査です。
 ・社会については、平成30年度より小6・中3が調査対象となり、西宮市学力調査を実施しています。

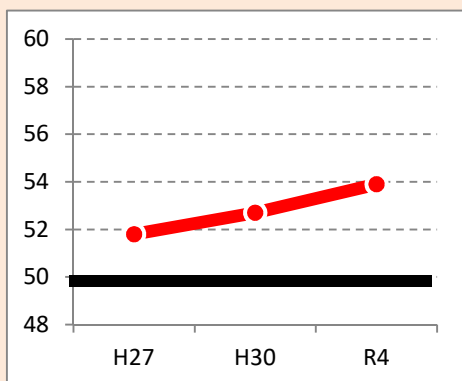
中3国語（全国）



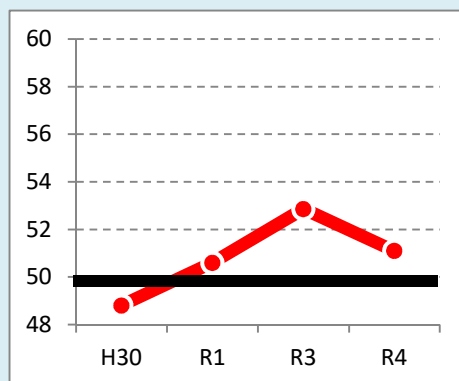
中3数学（全国）



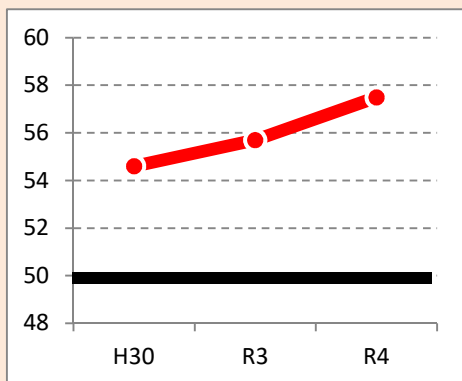
中3理科（全国）



中3社会（市）



中3英語（市）



○全国学力・学習状況調査は、全国悉皆調査として行われています。
 ・実施した国語、数学については、令和元年度（2019年度）より、「知識」問題（A）と「活用」問題（B）は一体化し、平成30年度以前の数値は（A）と（B）の値を平均しています。
 ○市の学力調査は、希望する市町村において行われている調査です。
 ・社会については、平成30年度より小6・中3が調査対象となり、西宮市学力調査を実施しています。
 ・英語については、平成30年度より中3が調査対象となり、平成30年度・令和3年度に西

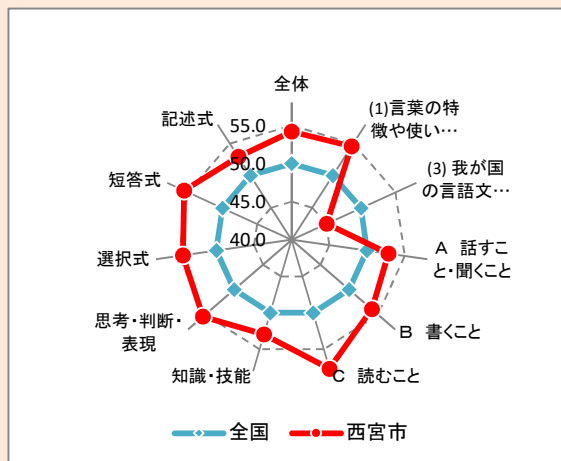
② 領域・観点・解答形式別正答率

【国語、算数・数学、理科】
【社会、英語】

全国平均正答率を50とした偏差値
全国平均正答率を50として換算

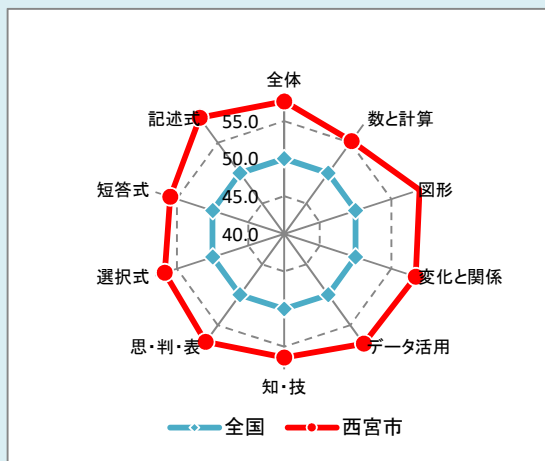
(全国) : 全国学力・学習状況調査
(市) : 西宮市学力調査

小6国語(全国)



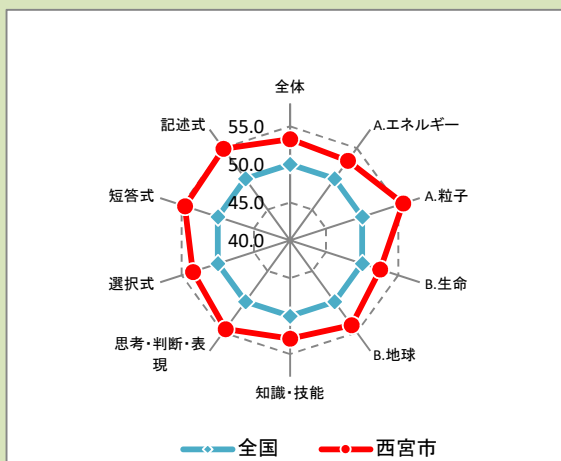
- ・「我が国の言語文化に関する事項」において若干の課題が見られます。
- ・その他、領域・観点・解答形式において、大変良好な結果です。

小6算数(全国)



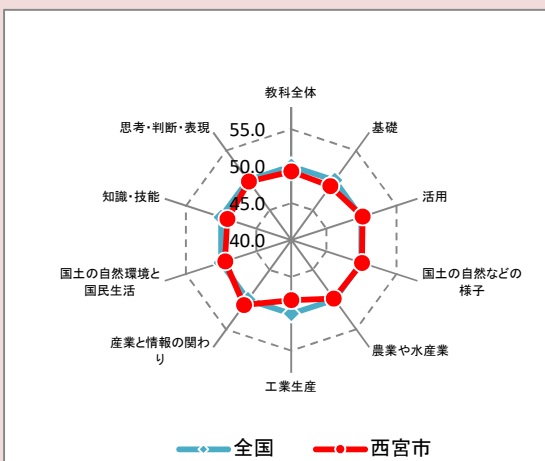
- ・領域・観点・解答形式において、すべて全国を上回っています。
- ・非常に良好な結果です。

小6理科(全国)



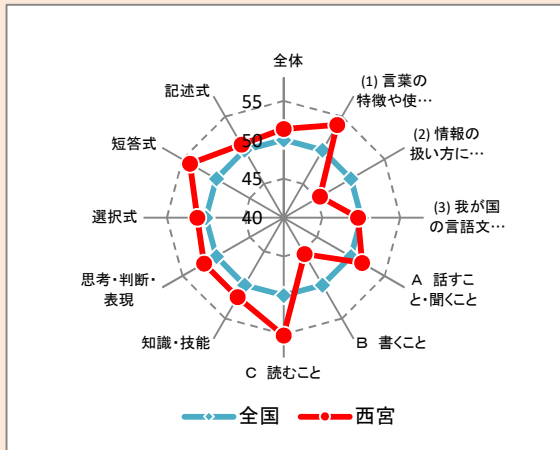
- ・領域・観点・解答形式において、すべて全国を上回っています。
- ・大変良好な結果です。

小6社会(市)



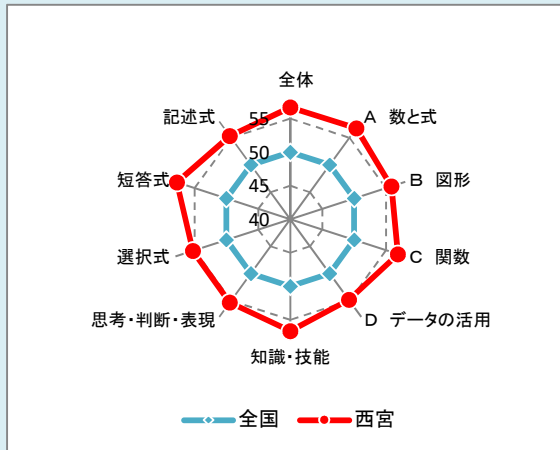
- ・基礎・活用、領域、観点において、「知識・技能」「思考判断」や「基礎」が全国と比較して下回っています。
- ・特に、「工業生産」や「農業や水産業」の領域に課題が見られます。

中3国語（全国）



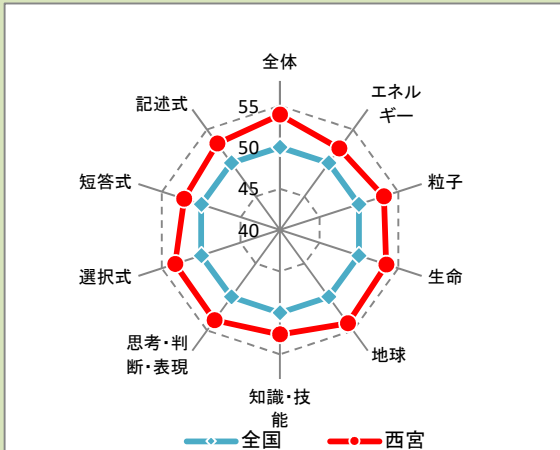
- ・「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「書くこと」において若干の課題が見られます。

中3数学（全国）



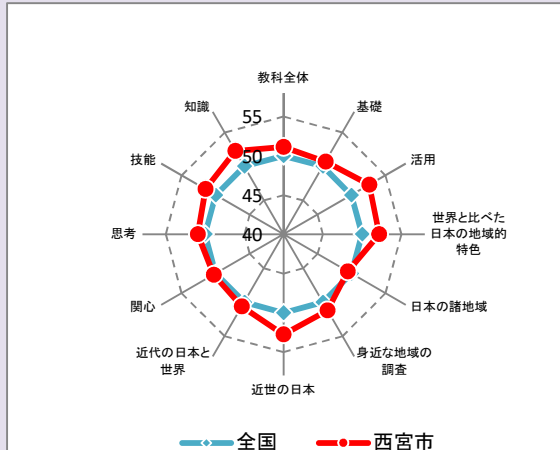
- ・領域・観点・解答形式において、すべて全国を上回っています。
- ・非常に良好な結果です。

中3理科（全国）



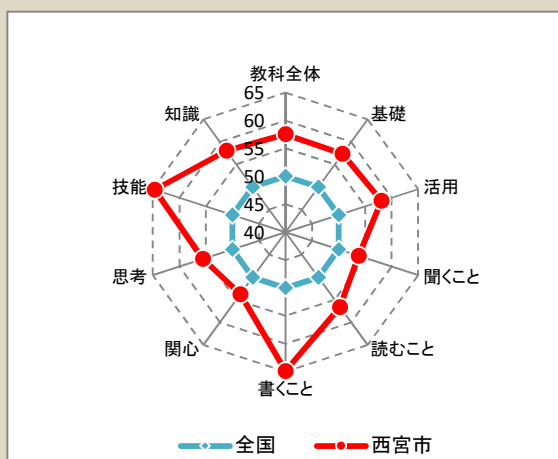
- ・領域・観点・解答形式において、すべて全国を上回っています。
- ・大変良好な結果です。

中3社会（市）



- ・特に、「世界と比べた日本の地域的特色」や「近世の日本」の領域は、全国を大きく上回っています。
- ・「活用」や「知識」の問題にもしっかりと答えることができます。
- ・基礎・活用、領域、観点において、良好な結果です。

中3英語（市）



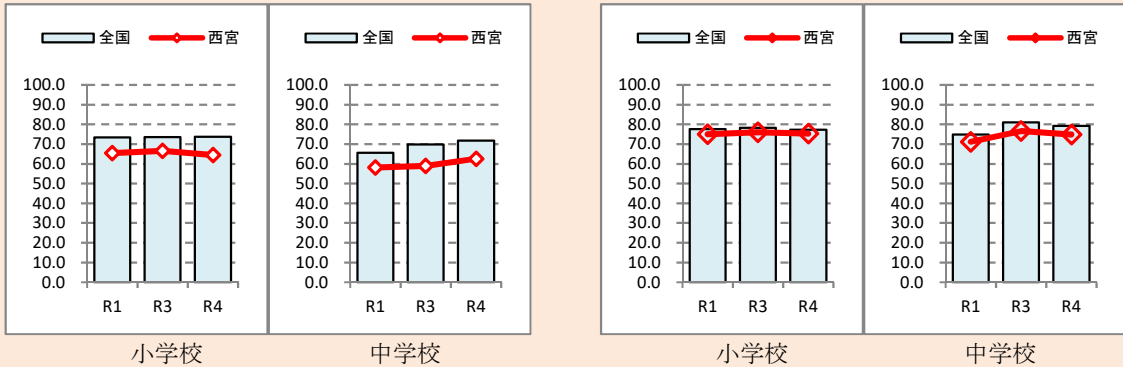
- ・特に、「書く」の領域は、全国を大きく上回っています。「技能」の問題にもしっかりと答えることができます。
- ・基礎・活用、領域、観点において、非常に良好な結果です。

(2) 児童生徒質問紙に関する調査の分析の概要

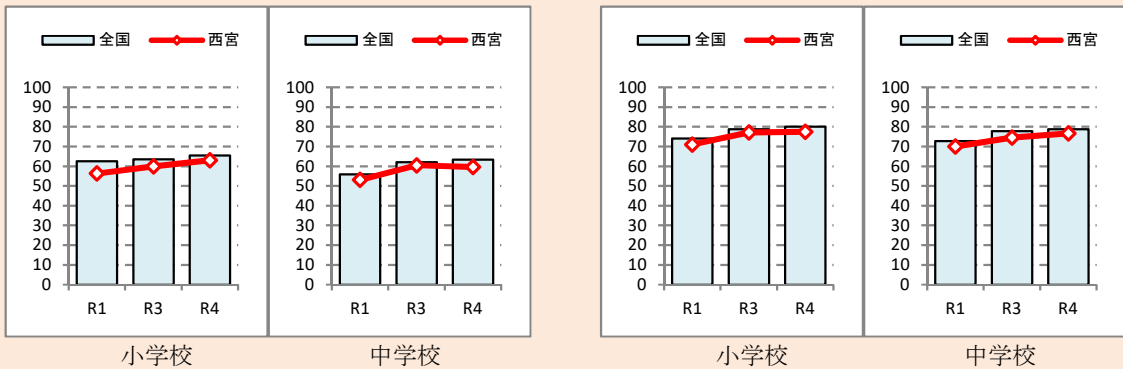
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合を示しています。

①学校での学習・生活習慣に関する項目

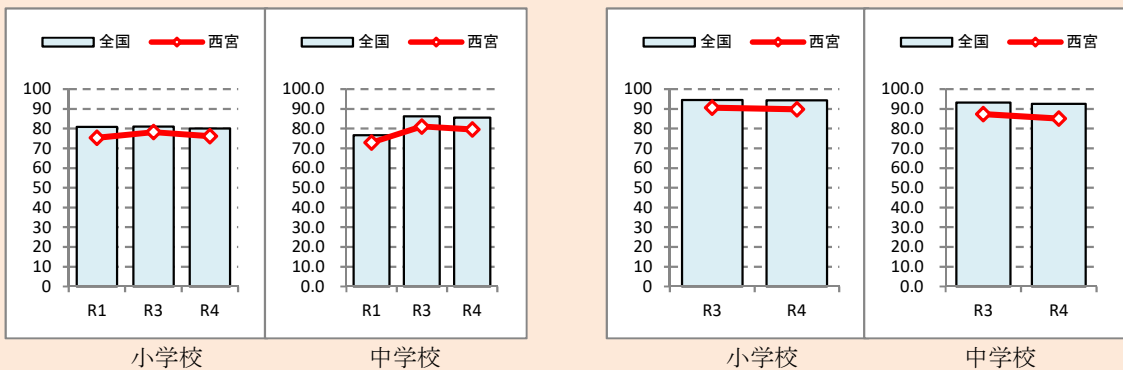
- 1 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。
- 2 これまで受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



- 3 これまで受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。
- 4 学級の友達との（児童生徒の）間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。



- 5 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。
- 6 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うことは、勉強の役に立つと思いますか。

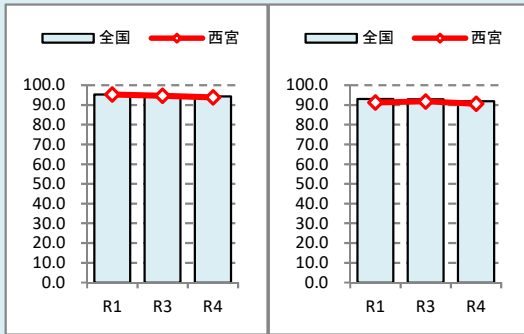


- 1の項目について、6割程度の児童生徒が学級で話し合ったことを生かして、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる様子が見られます。
- 2の項目について、8割程度の児童生徒が授業における課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる様子が見られます。
- 3の項目について、6割程度の児童生徒が自分の考えを発表する機会において、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している様子が見られます。
- 4の項目について、8割程度の児童生徒が話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている様子が見られます。
- 5の項目について、8割程度の児童生徒が道徳の学習で自分の考えを深めたり話し合ったりする活動に取り組んでいることが分かります。
- 6の項目について、9割に近い児童生徒がICT機器は学習に有効だと感じています。

②家庭での学習・生活習慣に関する項目

1

朝食を毎日食べていますか。

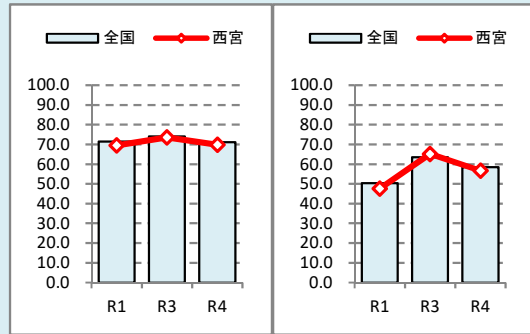


小学校

中学校

2

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）。

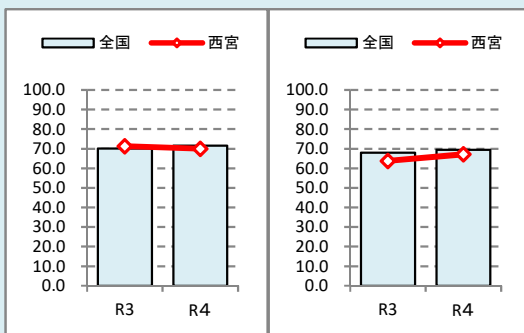


小学校

中学校

3

携帯電話・スマートフォン・コンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

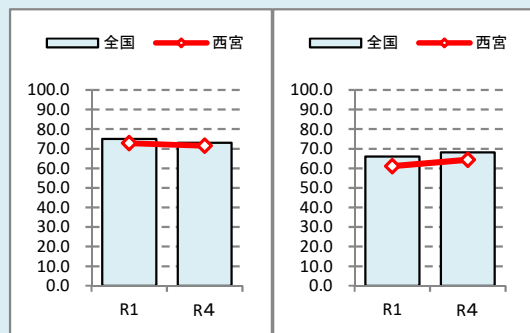


小学校

中学校

4

読書は好きですか。(R3は、質問項目なし)

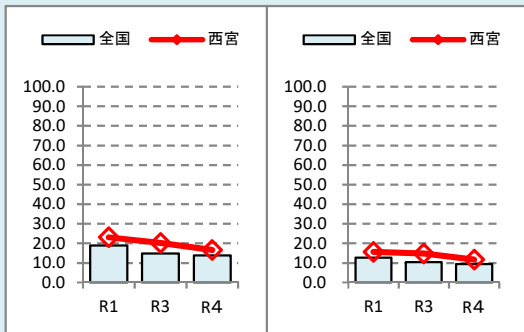


小学校

中学校

5

新聞を読んでいますか。

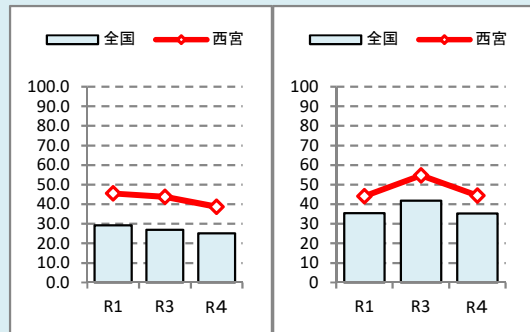


小学校

中学校

6

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強していますか、（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）※2時間以上と答えた児童生徒



小学校

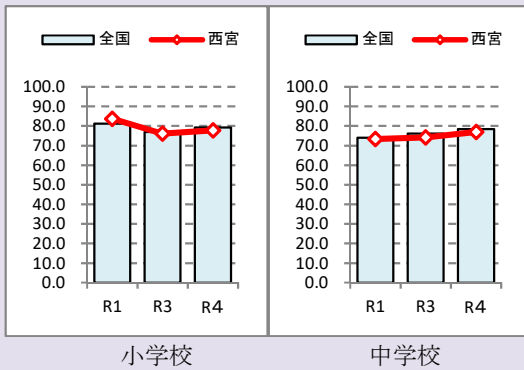
中学校

- 1の項目について、9割程度の児童生徒が朝食を毎日食べる習慣があることが分かります。
- 2の項目について、小学校で7割程度の児童、中学校で6割程度の生徒が、自分で計画を立てて学習していることが分かります。
- 3の項目について、7割程度の児童生徒が携帯電話・スマートフォン・コンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていることが分かります。
- 4の項目について、7割程度の児童生徒が読書を好んでいることが分かります。
- 5の項目について、新聞を読んでいる児童生徒は、年々減少し、2割を下回っています。
- 6の項目について、4割程度の児童生徒が学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強していることが分かります。

③ 自己有用感、挑戦心、受容に関する項目

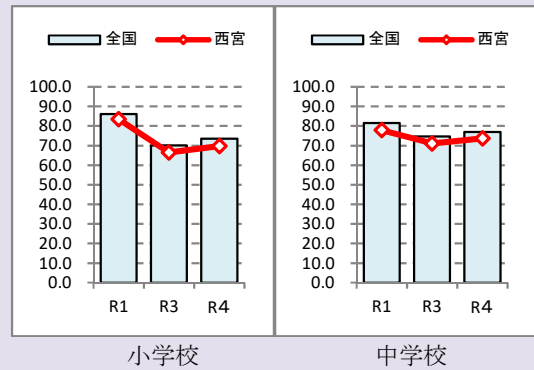
1

自分には、よいところがあると思いますか。



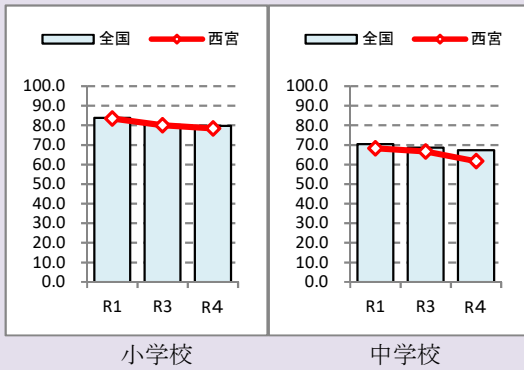
2

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。



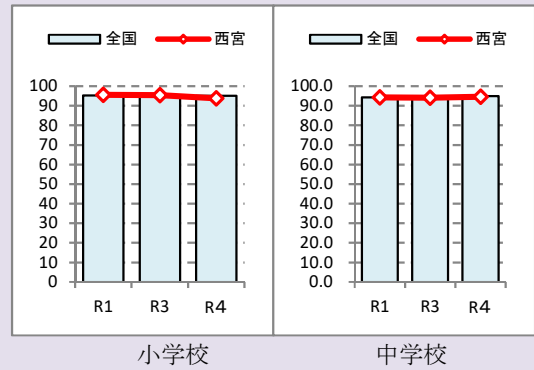
3

将来の夢や目標を持っていますか。



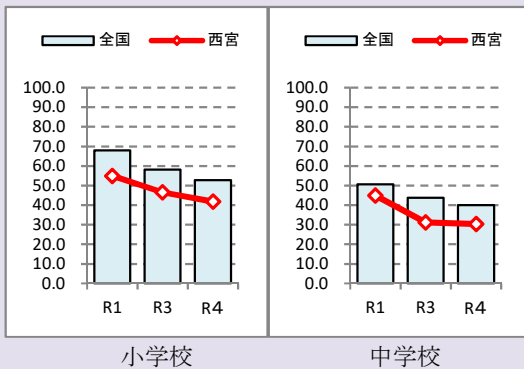
4

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



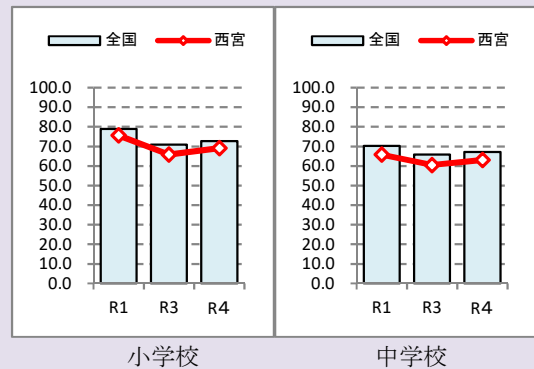
5

今住んでいる地域の行事に参加していますか。



6

難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。



- 1の項目について、8割前後の児童生徒が、自分にはよいところがあると思う、と肯定的な回答をしています。
- 2の項目について、7割前後の児童生徒が、自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じています。
- 3の項目について、将来の夢や目標をもっている児童生徒の減少がやや見られます。
- 4の項目について、9割以上の児童生徒が、人の役に立つ人間になりたいと思っていることが分かります。
- 5の項目について、小学校、中学校共に地域の行事に参加する児童生徒が減少していることが分かります。
- 6の項目について、小学校7割の児童、中学校6割の生徒が、失敗を恐れずに挑戦していることが分かります。

